NKSJグループ
日本興亜損保
NIPPONKOA INSURANCE

２０１３年3月５日

群馬県と「県有林整備パートナー事業実施協定」を締結しました

日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮 雅也）と日本興亜おもいやり倶楽部（*）（理事長：磯谷隆也）は群馬県との間で「県有林整備パートナー事業実施協定」を本日締結しました。

（*）「日本興亜おもいやり倶楽部」
日本興亜保険グループの役職員有志を会員とするマッチングギフト制度であり、
1996 年に発足しました。会員が毎月の給与から拠出した金額に会社が同額を上乗せして、
団体等に寄付をするなど、両者一体となった社会貢献活動を行っています。

１．「県有林整備パートナー事業」の概要

（１）対象とする森林の名称　：「日本興亜・赤城の森林（もり）」
（２）対象地域　：群馬県前橋市富士見町赤城山地内（0.5ha）
（３）協定期間　：10 年間（2013 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）
（４）主な活動内容
当社職員・代理店およびその家族が地域の皆さまと交流を図るとともに、
植林・下刈り等の森林整備活動を実施します。

２．群馬県の「県有林整備パートナー事業」について

群馬県では、第 34 回全国育樹祭の開催を記念して、「県有林整備パートナー事業」を開始しました。この事業は事業の趣旨に賛同し寄付を行った企業・団体をパートナーとして地球温暖化防止など森林が持つ多様な機能の向上を図ることを目的に、県有林にパートナー森林を設定し、その整備や保全を行うものです。

当社は、「日本興亜の森林（もり）」を 1998 年に八ヶ岳山麓に創設したのを皮切りに、今回の協定を含め全国に 4 拠点を設けています。これは自治体と協力しながら、当社職員・代理店およびその家族が地域の皆さまとともに森林を持続可能な資源として整備・保全するものです。樹木が成長するには長い時間がかかりますので、長期的な視野に立った継続的な支援が重要と言えます。これらの活動を継続して実施することで、生物多様性の重要性や自然の恵みへの感謝の気持ちを地域の皆さまと一緒に考えていきます。

以上

ECO FIRST
環境大臣認定
エコ・ファースト企業